

平成 20 年 11 月 7 日

各 位

香 川 県 高 松 市 鍛 冶 屋 町 7 番 地 1 2  
穴 吹 興 産 株 式 会 社  
代表取締役社長 穴 吹 忠 嗣  
(コード番号 8928 大証第一部)  
問い合わせ先 専務取締役 富岡 徹也  
管理本部長  
電 話 番 号 0 8 7 ( 8 2 2 ) 3 5 6 7

**当社子会社（株式会社クリエアナブキ）における業績予想の修正のお知らせ**

当社子会社の株式会社クリエアナブキでは、平成 20 年 5 月 14 日に公表しました平成 21 年 3 月期（平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）の業績予想について、別紙のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

なお、この修正を含めた当社の連結業績予想につきましては、適時開示の必要性が生じた際に、あらためてお知らせいたします。

以 上



平成 20 年 11 月 7 日

各 位

会社名 株式会社 クリエアナブキ  
 代表者名 代表取締役社長 藏 田 徹  
 (JASDAQ・コード番号 4336)  
 問合せ先 取締役管理本部長 山之内 茂  
 T E L . 087-822-8898 (代表)

平成 21 年 3 月期 連結業績予想の修正 及び  
 個別業績における前年実績値との差異に関するお知らせ

平成21年3月期（平成20年4月1日～平成21年3月31日）の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績について、平成20年5月14日付「平成20年3月期 決算短信」にて公表いたしました業績予想を、下記のとおり、修正いたします。

また、平成21年3月期 第2四半期累計期間（平成20年4月1日～平成20年9月30日）の業績（個別業績）について、前期第2四半期の実績値と比較して、差異が生じる見込みとなりましたので、併せてお知らせいたします。

記

## 1. 平成 21 年 3 月期 連結業績予想の修正

(金額の単位：百万円)

## (1) 第 2 四半期連結累計期間 連結業績予想の修正 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四 半 期 純 利 益	1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	4,005	18	17	1	42.78
今回発表予想 (B)	3,761	△ 11	△ 7	△ 10	△ 439.06
増 減 額 (B-A)	△ 243	△ 29	△ 24	△ 11	――
増 減 率	△ 6.1%	――	――	――	――
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成20年3月期 第2四半期)	3,867	△ 17	△ 11	17	761.22

## (2) 通 期 連 結 業 績 予 想 の 修 正 ( 平 成 20 年 4 月 1 日 ～ 平 成 21 年 3 月 31 日 )

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	8,428	160	158	86	3,678.67
今回発表予想 (B)	7,652	29	32	10	427.75
増 減 額 (B-A)	△ 776	△ 131	△ 126	△ 76	――
増 減 率	△ 9.2%	△ 81.9%	△ 79.7%	△ 88.4%	――
(ご参考) 前期実績 (平成20年3月期)	7,709	43	49	42	1,824.38

### (3) 修正の理由

平成 21 年 3 月期の連結業績については、景気の先行き不透明感が広がるなか、既存営業エリアで主力の人材派遣売上が伸び悩むこと、社会保険料率の上昇（売上原価の大部分を占める労務費の増加に繋がる。）や内部統制関連費用の増加により売上高利益率が低下することを、期初より想定しておりました。一方で、これらのマイナス要因は、新店効果（平成 20 年 1 月から同年 4 月にかけて中四国に 3 支店を新設しました。）や不採算特定子会社（平成 19 年 5 月に解散、同年 12 月に清算終了した㈱A I C O N）の除外効果によって補うことができるとの考えから、前回発表予想においては、概ね前期対比での増収増益を見込んでおりました。

しかし、支店開設や㈱WORKPORTからの事業の一部譲受け（平成 20 年 7 月実施）による増収効果はあるものの、第 2 四半期連結会計期間（平成 20 年 7 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日）以降、景気の急速な冷え込みに伴って各事業の需要が全体的に減少傾向となり、既存営業エリアでの事業活動が弱含みで推移しております。

この結果、第 2 四半期連結累計期間については、売上面において前回発表予想を下回るとともに、上述の原価及び費用の増加を吸収することができず、利益面でも前回発表予想を下回る見込みであります。また、通期についても、第 2 四半期連結累計期間の業績動向から判断して、今後、特に繁忙期（第 4 四半期連結会計期間（平成 21 年 1 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日））の事業活動が弱含むと考えられることから、売上・利益の両面で前回発表予想を下回る見込みであります。

## 2. 平成 21 年 3 月期 個別業績における前年実績値との差異

（金額の単位：百万円）

### (1) 第 2 四半期累計期間 前年実績値との差異（平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前期第 2 四半期実績（A） （平成 20 年 3 月期 第 2 四半期）	3,720	47	50	38	1,658.61
当期第 2 四半期業績見込み（B）	3,704	△ 12	△ 8	△ 10	△ 450.85
増減額（B－A）	△ 16	△ 60	△ 58	△ 49	—
増減率	△ 0.4%	—	—	—	—

### (2) 差異の理由

平成 21 年 3 月期 第 2 四半期累計期間の業績（個別業績）については、売上高において、新店効果や㈱WORKPORTからの事業の一部譲受けによる収入の押上げがあったものの、景気減速の影響により、既存営業エリアでの事業活動が弱含みで推移したため、前年実績を僅かながら下回りました。また、利益面では、社会保険料率の上昇などに伴う原価率の高止まり、内部統制関連費用の増加や事業譲受けに係る支出などにより、全ての項目において、前年実績を下回る見込みであります。

（注）本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上